


各教育関係者様


 横浜国立大学教育人間科学部附属横浜中学校 平成 28 年度 研究発表会のご案内(二次)

研究主題：新しい時代に必要となる資質・能力の育成への試みⅡ ～学びの自覚につながる指導の工夫～

新しい学習指導要領が今年度（平成 28 年度）末に公表される予定ですが、本校では一連の教育改変の動向を見据えて、昨年度から「新しい時代に必要となる資質・能力の育成への試み」を主題とする研究に取り組んでいます。

昨年度はサブタイトルを『知識・技能』の構築へ向かう授業の工夫」と定め、「育成すべき資質・能力」の「三つの柱」の趣旨を踏まえながら、「知識・技能」を構築する姿が学習活動を通してどのように実現されるかについて研究し、発表しました。そこから見えてきたことは、生徒一人一人が自らの「学び方」をどう捉えているかという新たな問いです。

今年度は、生徒が「見方・考え方」を働かせて変容していく姿を見取り、それをどのように次の学習へとつなげていくかという課題意識のもと、実践と研究を積み重ねてきました。本研究発表会ではサブタイトルに示されたように、「学びの自覚につながる指導の工夫」について各教科から授業提案を行います。この提案を踏まえて分科会（各教科と ICT）では、文部科学省教科調査官及び共同研究者の先生方のお考えを伺いながら、ご参加の皆様と活発な意見交換を進めて参りたいと存じます。

以上、本年度研究発表会の趣旨をお知らせするとともに、多くの方々からご参会いただきますようご案内申し上げます。

横浜国立大学教育人間科学部附属横浜中学校長 中嶋俊夫

- 1 主 催 横浜国立大学教育人間科学部附属横浜中学校
 2 日 程 平成 29 年 2 月 17 日(金) 10:00～16:10 国語, 社会, 音楽, 保健体育, 家庭, (ICT)
 平成 29 年 2 月 18 日(土) 10:00～16:10 数学, 理科, 美術, 技術, 英語, (ICT)

9:00～ 受付	10:00～10:50 公開授業	移 動	11:00～(11:30) 生徒による 授業評価等	昼食 休憩	12:30～12:50 校長挨拶・ 基調提案 (両日同内容)	12:50～16:10 研究協議・ 講演等
教科分科会ごとに行います。途中休憩をとります。						

※今年度は ICT に特化した授業公開はいたしません。各授業では必要に応じて ICT を使用いたします。ICT に関心をお持ちの方は、午後の ICT 分科会にご参加ください。17 日(金)は本校の実践報告、18 日(土)は実践報告及び講演会を行います。終了後は他分科会の講演等にご参加ください。

※ 昼食はご持参いただくか、学校前の弘明寺商店街などをご利用ください。お弁当の販売もいたします。

3 助言及び講演の先生方

国語	文部科学省教科調査官 杉本 直美 先生	音楽	文部科学省教科調査官 臼井 学 先生	技術	文部科学省教科調査官 上野 耕史 先生
社会	文部科学省教科調査官 村瀬 正幸 先生	美術	文部科学省教科調査官 東良 雅人 先生	家庭	文部科学省教科調査官 筒井 恭子 先生
数学	文部科学省教科調査官 水谷 尚人 先生	保健 体育	文部科学省教科調査官 高橋 修一 先生	英語	文部科学省教科調査官 平木 裕 先生
理科	文部科学省教科調査官 野内 頼一 先生				

4 各教科の研究テーマ・公開授業コンセプト・共同研究者 一覧

【1日目：17日(金)】

教科等	各教科の研究テーマ 公開授業 学年	提案コンセプトや 授業の見所、単元・題材など	担 当 ◇授業者	共同研究者 (横浜国立大学)
国語	○「ことば」への認識を自覚的に育む指導と評価 公開授業 1年	・「話すこと・聞くこと」の学習において、これまでに学んできたこととの連続性を意識しながら、「話す技能」を自覚的に捉えなおすことを通して、コミュニケーションのあり方を体験的に考える授業を提案します。	◇福井 雅洋 高橋 あずみ 清水 理佐	教授 高木 まさき 先生 准教授 石田 喜美 先生
社会	○社会的な見方や考え方をを用いて深い学びにつなげる授業の工夫 公開授業 2年	・地理的分野における日本の諸地域「中部地方」について、人口や都市・村落を中核とした考察を行います。農村体験学習で訪れた長野県上田市武石地区を事例として、過疎問題の解決に向けて、既習事項を踏まえながら具体的な提案内容を考える授業です。	◇土谷 満 田川 雄三	教授 重松 克也 先生
音楽	○「聴き手にどう伝えるか」をテーマに、思考・判断・表現する力を育成する指導の工夫 公開授業 1年	・リコーダー・アンサンブル活動を通して、基礎的な表現の技能を習得し、創意工夫して表現するプロセスにおいて、音楽に関する用語や記号を演奏と関連付けて実感できる授業を提案します。	◇平石 孝太	准教授 島田 広 先生
保健体育	○協働的な学び合いの中で、自己の学びを深める授業づくり 公開授業 2年	・主体的・協働的な学び合いの中で、習得した知識や技能を生かし、仲間とかかわり合いながら、自他やチームの課題解決に向けて工夫して取り組むことを意識した、球技「サッカー」の授業を展開します。	◇中山 淳一朗 関 さおり	准教授 梅澤 秋久 先生
家庭	○学びの自覚を通して生活を工夫し創造する能力を育成する授業づくり 公開授業 2年	・「D 身近な消費生活と環境」の(1)家庭生活と消費において、学びの自覚を通して、生活を工夫し創造する能力の育成を目指します。	◇池岡 有紀	教授 堀内 かおる 先生
ICT		・本校の授業実践報告 ※授業実践は行いません。	(提案者) 林 達郎	

【2日目：18日(土)】

教科等	各教科の研究テーマ 公開授業 学年	提案コンセプトや 授業の見所、単元・題材など	担 当 ◇授業者	共同研究者 (横浜国立大学)
数 学	○協働的な学習活動を通じた 学びの自覚につながる指導 の工夫 公開授業 1年	・1年生「B 図形」領域の単元「作図の利用」において、主体的・協働的な活動を通して解決方法を導き出し、学びの自覚を促しながら課題への考察を深める授業について提案します。	◇池田 純 関野 真 大矢 周平	教授 池田 敏和 先生
理 科	○学びの自覚を通じた科学的 な概念の構築と科学的な探 究の能力の育成を目指す授 業の工夫 公開授業 1年	・1年生「身の回りの物質」において、学びの自覚を促す工夫を意図的・計画的に単元及び授業構成に反映させ、主体的・協働的な学習活動を通して、科学的な概念を構築させ、科学的な探究の能力を育成する授業の工夫を提案します。	◇神谷 紘祥 ◇田中 明夫	教授 森本 信也 先生
美 術	○美術を通して社会・世界とつ ながるための学びの自覚の あり方 公開授業 2年	・「優れた視覚的なデザインは、コミュニケーションを豊かにする」をテーマに、ピクトグラムを教材としてホワイトボードを使い、協働的な学びを展開していきます。[共通事項]を視点に、単に事実的な知識としての習得に留まらず、社会生活において生きて働く知識、つまり活用できる知識として身に付けることをねらう授業です。	◇飯田 哲昭	准教授 小池 研二 先生
技 術	○学びの自覚を通して生活を 工夫し創造する能力を育成 する授業づくり 公開授業 2年	・「D 情報に関する技術」において、学びの自覚を促しながら、学校を紹介するためのデジタル作品制作の計画を立てていく授業を行います。	◇佐々木 恵太	准教授 鬼藤 明仁 先生
英 語	○学びの自覚を通して実践的 コミュニケーション能力を高 める授業の工夫 公開授業 2年	・2年次学習事項の比較級と既習事項を活用し、ディベートの基礎となる話し合い活動を行います。文法事項の学習だけでなく、グループメンバーと意見を交換することにより、価値観の変容を促すトリガーとなる授業を行います。	◇稲田 譲 田前 千春 武田 美樹	教授 満尾 貞行 先生
I C T		・本校の授業実践報告および講演会 ※授業実践は行いません。	(提案者) 林 達郎	教授 野中 陽一 先生

5 会 場

横浜国立大学教育人間科学部附属横浜中学校



6 参加費(書籍代を含みます)

一日参加：2,000円 両日参加：2,500円 (当日、受付にてお支払いください。)

※ 両日とも同日程(基調提案も同内容)で、教科等のみ異なります。

※ 全教科等の学習指導案を封入してありますので、一日参加ですべてお持ち帰りいただけます。

7 申込から受付まで

・本校ホームページから事前にお申込みください。

・申込は、平成28年12月16日(金)から平成29年2月14日(火)正午までの間にお願いします。

[事前申込の流れ]

□1 次のURL(<https://ws.formzu.net/fgen/S50024416/>)にアクセスしてください。

□2 「平成28年度 研究発表会申込フォーム」で必要事項を入力し、お一人様ずつお申込みください。

・次のものを当日にお持ちください。

□1 「平成28年度 研究発表会申込フォーム」のメールの印刷物 → 受付でご提出ください。
(スマートフォン等でメールの受信画面をご提示することをご遠慮ください。)

□2 所属機関(学校など)でお使いになっている名札 → 会場でご着用ください。

8 その他

○ 受付及び授業会場は例年たいへん混みます。お早めに受付を済ませることをお勧めいたします。

○ 午前の公開授業で撮影した映像・画像等は、研究・研修を目的とした個人的使用に限定してください。

○ 午後の分科会における撮影・録音などはご遠慮ください。

○ ご不明な点は、[担当] a.takahashi@ynu.ac.jp までメールにてご連絡ください。

○ 事前申込後のキャンセルは、速やかに yokochu@ynu.ac.jp までメールにてご連絡ください。

[担当] 横浜国立大学教育人間科学部附属横浜中学校
研究主任 高橋 あずみ (E-mail :a.takahashi@ynu.ac.jp)
<http://yokochu-ynu.com/>
〒232-0061 横浜市南区大岡 2-31-3
TEL 045-742-2281 FAX 045-742-2522